

2022年10月31日

2022 年度 第 3 四半期 決算レポート

1-9 月累計実績(対 2021 年 1-9 月)

- ・ 売上収益は 13.7%増の 2 兆 85 億円
- 為替一定ベースの core revenue は 4.1%増の 1 兆 7,658 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 6.5%増の 5,784 億円
- · 財務報告ベースの調整後営業利益は 17.5%増の 6,378 億円
- ・ 営業利益は 20.5%増の 5,793 億円
- ・ 四半期利益は19.2%増の4,038 億円

2022 年今回見込(対前回見込)

- ・ 売上収益については 1,820 億円の上方修正
- 為替一定ベースの core revenue は 570 億円の上方修正
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は560億円の上方修正
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 1,030 億円の上方修正
- ・ 営業利益及び当期利益はそれぞれ 1,000 億円及び 830 億円の上方修正
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 770 億円の上方修正
- ・ 1 株当たりの年間配当予想は 188 円に上方修正

財務数値の詳細については P.13 「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺畠 正道 CEO コメント:

"JT グループの第 3 四半期実績は、たばこ事業における堅調なプライシングに牽引され非常に力強いものとなりました。日本市場における Ploom X は HTS*カテゴリー内シェアも順調に伸張しており、また英国で販売を開始いたしました。 2023年以降も Ploom X の海外市場での上市を順次実施して参ります。

また、米国における HTS 製品の商業化を目的として、Altria Group, Inc.グループとともに合弁会社を設立すること、RRP の更なる事業機会を探求するため長期にわたる戦略的なグローバル・パートナーシップについて合意いたしました。長期にわたる戦略的なパートナーシップを締結したことで、両グループにおける喫煙に伴う健康リスク低減に向けた取り組みの進展や企業価値の向上に寄与するものと確信しております。引き続き、将来の成長に向けた施策を着実に進めて参ります。

2022 年度の通期業績見込については、為替一定及び財務報告ベースの調整後営業利益、当期利益は円安と堅調な事業パフォーマンスにより上方修正いたしました。なお、当社グループのロシア事業については通期ベースで織り込んでいます。今回の通期業績予想及び当社の株主還元方針を踏まえ、1 株当たり年間配当金予想は前回予想から 38円の増配となる 188円といたします。

当社グループは、ロシア・ウクライナ情勢が長期化、複雑化する中、国内外におけるあらゆる制裁措置を遵守した上で、事業運営を継続しております。引き続き、経営理念である 4S モデル**に則り、必要な意思決定を行っていくことにより、この難局に対処して参ります。"

* heated tobacco sticks

** JT グループの経営理念である「4S モデル」の追求は、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の 4 者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4 者の満足度 を高めていく」という考え方です。私たちは、「4S モデル」の追求を通じ、中長期に亘る持続的な利益成長の実現を目指しています。この「4S モデル」を追求していくことが、企業価値の継続的な向上につながり、4 者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信しております。

投資家説明会

投資家説明会は、2022年10月31日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(https://www.jti.co.jp/investors/index.html)

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

当社グループは、2020 年度第3 四半期より IAS 第29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021 年度、2022 年度実績及び2022 年度見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。なお、2022 年度第3 四半期時点では、エチオピア、イラン、スーダン、トルコが含まれています。

主要な指標における本調整の影響につきましては、下記をご参照ください。

全社/たばこ事業 実績

売上収益 : +291億円調整後営業利益 : -96億円四半期利益 : -198億円

2022 年度 第3四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2022 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率	2022 年 1-9 月	2021 年 1-9 月	増減率
売上収益	7,417	6,215	+19.3%	20,085	17,661	+ 13.7%
調整後営業利益	2,230	1,847	+20.7%	6,378	5,429	+ 17.5%
営業利益	1,964	1,586	+23.8%	5,793	4,807	+ 20.5%
四半期利益	1,397	1,136	+23.0%	4,038	3,388	+ 19.2%
為替一定ベース core revenue	6,238	5,960	+4.7%	17,658	16,970	+4.1%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,917	1,847	+3.8%	5,784	5,429	+6.5%

2022年7-9月

• 売上収益

売上収益については、全ての事業において増収したことにより、前年同期比 19.3%増の 7,417 億円となりました。 為替一定ベースの core revenue は、前年同期比 4.7%増の 6,238 億円となりました。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、医薬事業及び加工食品事業における減少があったものの、たばこ事業での増加により、前年同期比 3.8%増の 1,917 億円となりました。財務報告ベースでは、円安によるポジティブな為替影響により、前年同期比 20.7%増の 2,230 億円となりました。

• 営業利益

営業利益については、調整後営業利益の増加により、前年同期比 23.8%増の 1,964 億円となりました。

• 四半期利益

四半期利益については、金融損益が悪化したものの、営業利益の増加により、前年同期比 23.0%増の 1,397 億円となりました。

2022年1-9月

売上収益

売上収益については、全ての事業において増収したことにより、前年同期比 13.7%増の 2 兆 85 億円となりました。 為替一定ベースの core revenue は、前年同期比 4.1%増の 1 兆 7,658 億円となりました。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、たばこ事業及び医薬事業での増加により、前年同期比6.5%増の5,784億円となりました。財務報告ベースでは、円安によるポジティブな為替影響により、前年同期比17.5%増の6,378億円となりました。

• 営業利益

営業利益については、調整後営業利益の増加により、前年同期比 20.5%増の 5,793 億円となりました。

四半期利益

四半期利益については、金融損益が悪化したものの、営業利益の増加により、前年同期比 19.2%増の 4,038 億円となりました。

事業別実績

たばこ事業

(億円)	2022 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率	2022 年 1-9 月	2021 年 1-9 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	6,554	5,395	+21.5% (+4.5%)*	17,607	15,321	+14.9% (+3.9%)*
調整後営業利益	2,283	1,902	+20.1% (+3.6%)*	6,534	5,629	+16.1% (+5.5%)*
参考 (億本、億円)						
総販売数量	1,392	1,401	-0.6%	4,020	4,039	-0.5%
Combustibles 販売数量	1,373	1,382	-0.7%	3,960	3,985	-0.6%
RRP 販売数量	20	19	+3.5%	60	54	+10.7%
RRP 関連売上収益	197	197	+0.2%	589	583	+1.0%

^{*}為替一定ベース 対前年同期増減率

2022年7-9月

• 自社たばご製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、全てのクラスターでポジティブな単価差影響が発現したこと、底堅い総需要、継続的な市場シェア伸張及び円安によるポジティブな為替影響により、前年同期と比べて増加しています。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響 432 億円がネガティブな数量差影響 191 億円を上回ったことにより、前年同期と比べ 21.5%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 4.5%増加しています。RRP 関連売上収益は、前年同期比 0.2%の増加となりました。財務報告ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加により、前年同期比 20.1%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 3.6%増加しています。

販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、継続的なシェアの伸張及び Global Travel Retail・イラン・ポーランド・ロシアを中心とした EMA での増加が、Asia 及び Western Europe での減少をほぼ相殺し、前年同期比 0.6%減少と底堅く推移しました。 RRP 販売数量は、HTS(heated tobacco sticks)カテゴリの増加及び日本での Ploom X 発売・シェア伸張により、前年同期比 3.5%増加しました。 Combustibles 販売数量は、主要市場であるイタリア・日本・フィリピン・英国における総需要の減少等により、前年同期比 0.7%の減少となりました。

市場シェアは、イタリア・フィリピン・ロシア・スペイン・台湾・トルコといった主要市場で引き続き伸張しています。

2022年1-9月

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、主要市場である日本・フィリピン・ルーマニア・ロシア・スペイン・ 台湾・トルコ・英国を含む全てのクラスターでポジティブな単価差影響が発現したこと、底堅い総需要、継続的な市場シェアの伸張及び円安によるポジティブな為替影響により、前年同期と比べて増加しています。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響 1,044 億円がネガティブな数 量差影響 448 億円を上回ったことにより、前年同期と比べて 14.9%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ 製品売上収益は、前年同期比 3.9%増加しています。RRP 関連売上収益は、前年同期比 1.0%の増加となり

ました。

財務報告ベースの調整後営業利益は、自社たばご製品売上収益の増加が、サプライチェーン関連コストの増加を上回り、前年同期比 16.1%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 5.5%増加しています。

販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、継続的なシェアの伸張及び EMA での販売数量増加が、Asia 及び Western Europe の主要市場での総需要減少の影響をほぼ相殺し、前年同期比 0.5%減少と底堅く推移しました。Combustibles 販売数量は、Global Travel Retail・イラン・ミャンマー・ポーランド・スペイン・台湾を中心に増加したものの、前年同期比 0.6%の減少となりました。RRP 販売数量は、HTS カテゴリの増加及び日本での Ploom X 発売・シェア伸張により、前年同期と比べて 10.7%増加しています。

市場シェアは、イタリア・フィリピン・スペイン・台湾・トルコといった主要市場で引き続き伸張しています。

たばこ事業 クラスター別 実績

Asia

(億円)	2022 年 1-9 月	2021 年 1-9 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	6,093	6,107	-0.2% (-4.1%)*
調整後営業利益	2,308	2,339	-1.4% (-2.3%)*

参考 (億本)

総販売数量	958	1,024	-6.4%

*為替一定ベース 対前年同期増減率

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響があったものの、前年同期と比べて 0.2%減少しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、フィリピンを中心にポジティブな単価差/商品構成影響が発現したものの、日本・フィリピンを主因としたネガティブな数量差影響により、前年同期比 4.1%減少しました。

調整後営業利益は、ポジティブな為替影響があったものの、前年同期と比べて 1.4%減少しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響及びコストの減少があったものの、ネガティブな数量差影響により、前年同期と比べて 2.3%減少しました。

販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にバングラデシュ・日本・フィリピンで減少したことにより、前年同期と比べてそれぞれ 6.4%、4.4%減少しました。市場シェアは、カンボジア・インドネシア・フィリピン・韓国・台湾において伸張しました。

市場別実績¹

日本² における総販売数量は、Ploom X のシェア伸張により RRP 販売数量が増加したものの、総需要が減少したことにより、前年同期と比べて 11.0%減少しました。市場シェアは、前年同期比 2.7 パーセントポイント減の 42.2%になりました。なお、22 年 7-9 月期の市場シェアは、Combustibles における Camel Craft 及び RRP カテゴリ内シェアが伸張したことにより、22 年 4-6 月期に比べて伸張しました。

Combustibles 販売数量は、RRP カテゴリの伸張に伴う Combustibles 総需要の減少及び Combustibles シェアの減少により、前年同期比 14.0%の減少となりました。Combustibles 総需要は、前年同期と比べ 11.1%減少したものと推定されています。Combustibles シェアは、低価格帯での競争が継続していることにより、前年同期比 1.9 パーセントポイント減の 57.7%になりました。

RRP 販売数量は、前年同期と比べて 32.5%増加しました。RRP 市場占有率(出荷ベース)は、33.8%と推計しています。RRP カテゴリ内シェアは、前年同期比 2.2 パーセントポイント増の 12.0%になりました。Ploom X の販売数量及び HTS カテゴリ内シェアは、引き続き伸張しています。HTS カテゴリ内シェアは、前年同期比 3.7 パーセントポイント増の 7.6%になりました。

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブなプライシング効果はあるものの、ネガティブな数量差影響及び単価差/商構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

フィリピンにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、22 年 1-3 月期の増税に伴う値上げによる総需要の減少により、前年同期と比べてそれぞれ 10.0%、4.7%減少しました。市場シェアは、Camel 及び Mighty の伸張により、前年同期比 0.4 パーセントポイント増の 36.8%と推定しています。

為替一定ベースの自社たばご製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を 上回ったことにより、前年同期と比べ増加しました。

台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、MEVIUS を含むプレミアムセグメントの伸長により総需要のトレンドを凌駕し、前年同期と比べてそれぞれ 3.4%、2.6%増加しました。市場シェアは、Winston 及び MEVIUS の伸張により、前年同期比 0.7 パーセントポイント増の 48.8%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

Western Europe

(億円)	2022 年 1-9 月	2021 年 1-9 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	4,134	3,899	+6.0% (+0.2%)*
調整後営業利益	1,932	1,804	+7.1% (+2.9%)*

参考 (億本)

総販売数量	840	876	-4.2%

*為替一定ベース 対前年同期増減率

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期比 6.0%増加しました。為替影響を除いた場合、主にドイツ・アイルランド・スペイン・スイス・英国で発現したポジティブな単価差/商品構成影響が英国を中心に発現したネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年同期比 0.2%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響により、前年同期比 7.1%増加 しました。 為替影響を除いた場合、前年同期比 2.9%増加しました。

販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、市場シェアが引き続き伸張したものの、渡航制限の緩和により特にフランス・ドイツ・英国において総需要が減少したことから、前年同期と比べて 4.2%減少しました。GFB 販売数量は、市場シェアが伸長したことにより、前年同期と比べて 0.8%増加しました。市場シェアは、フランス・ドイツ・ギリシャ・アイルランド・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸張しました。

市場別実績¹

イタリアにおける総販売数量は、前年同期と比べて 0.9%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期と比べて 1.2%増加しました。GFB 販売数量は、Combustibles 総需要が減少したものの、Winston が伸張したことにより、前年同期比 0.2%増加しました。市場シェアは、Winston の伸張により、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 27.3%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

スペインにおける総販売数量は、前年同期と比べて 5.8%増加しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、段階的な渡航制限緩和により総需要が回復してきたことにより、前年同期比 7.6%の増加となりました。GFB 販売数量は、市場内でトップのシェアを獲得したことにより、前年同期比 3.6%増加しました。市場シェアは、Camel の伸張により、前年同期比 0.9 パーセントポイント増の 28.4%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年 同期と比べ増加しました。

英国における総販売数量は、渡航制限緩和により総需要の減少が 22 年 4-6 月期及び 7-9 月期に加速したことから、前年同期と比べて 17.0%減少しました。市場シェアは、前年同期比 0.7 パーセントポイント減の 45.1%になりました。なお、22 年 7-9 月期の市場シェアは、4-6 月期に比べて伸張しました。

為替一定ベースの自社たばご製品売上収益は、ネガティブな数量差影響がポジティブな単価差/商品構成影響を上回ったことにより、前年同期と比べて減少しました。

EMA

(億円)	2022 年 1-9 月	2021 年 1-9 月	増減率
自社たばご製品売上収益	7,379	5,315	+38.8% (+15.8%)*
調整後営業利益	2,294	1,485	+54.5% (+21.2%)*
参考 (億本)			
総販売数量	2,222	2,139	+3.9%

*為替一定ベース 対前年同期増減率

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期比 38.8%増加しました。為替影響を除いた場合、Global Travel Retail・イラン・ポーランド・米国を中心に発現した数量差影響及びカナダ・チェコ・Global Travel Retail・イラン・カザフスタン・ポーランド・ルーマニア・ロシア・トルコを中心に発現した単価差/商品構成影響がポジティブに作用したことにより、前年同期と比べて 15.8%増加しました。

調整後営業利益は、サプライチェーン関連コストの増加があったものの、自社たばご製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響により、54.5%増加しました。為替影響を除いた場合、前年同期と比べて 21.2%増加しました。

• 販売数量及び市場シェア 1

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にブラジル・イラン・モロッコ・ポーランド・米国における増加及び Global Travel Retail の回復基調により、前年同期と比べてそれぞれ 3.9%、4.7%増加しました。市場シェアは、アルジェリア・ブラジル・カナダ・チェコ・ハンガリー・イラン・カザフスタン・サウジアラビア・セルビア・南アフリカ・タンザニア・トルコ・米国等において伸張しました。

市場別実績¹

ルーマニアにおける総販売数量は、市場シェアが減少したものの、前年同期と比べて 0.2%減少と底堅く推移しました。 GFB 販売数量は、Winston が牽引し、前年同期と比べて 1.2%増加しました。 市場シェアは、Winston 及び Sobranie の伸張はあったものの、前年同期比 0.2 パーセントポイント減の 29.5%になりました。

為替一定ベースの自社たばご製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べて増加しました。

ロシア² における総販売数量は、22 年 7-9 月期に増加したものの、前年同期と比べて 1.1%減少しました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、増税に伴う値上げによる総需要の減少により、前年同期比 1.4%の減少となりました。総需要は、前年同期と比べて 3.4%減少したものと推定しています。 GFB 販売数量は、 Camel が牽引したことにより、前年同期と比べて 2.7%増加しました。 市場シェアは、 Camel の伸張はあるものの、前年同期と同水準の 36.8%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を 上回ったことにより、前年同期と比べて増加しました。

トルコにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアは伸張したものの、総需要が 22 年 7-9 月期に減少したことにより、前年同期と比べてそれぞれ 3.7%、2.8%減少しました。市場シェアは、Winston の伸張により、前年同期比 0.2 パーセントポイント増の 27.9%になりました。

為替一定ベースの自社たばご製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べて増加しました。

1出典:総需要及びシェアは、IRI、Logista、Nielsen、Panel Strator 及び JT グループ内部データ等。特に言及がない限り 2022 年 1 月から 9 月までの平均 ベースであり、対象は Combustibles (Snus を除く)。9 カ月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期との比較。なお、フィリピンに関するデータは 2022 年 1 月から 7 月まで、カナダ・フランス・ドイツ・ギリシャ・ハンガリー・イラン・カザフスタン・オランダ・ルーマニア・南アフリカ・スペイン・スイス・タンザニアに関するデータ は 2022 年 1 月から 8 月までの平均ベース。

²特に言及がない限り、総需要及び市場シェアは Combustibles 及び RRP(reduced-risk products)を含みます。

医薬事業

(億円)	2022年 7-9月	2021年 7-9月	増減率	2022 年 1-9 月	2021年 1-9月	増減率
売上収益	204	197	+3.2%	597	568	+5.1%
 調整後営業利益	24	31	-21.3%	73	66	+10.0%

2022年7-9月

売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により、前年同期比 3.2%の増収となりました。 調整後営業利益は、研究開発費の増加により、前年同期比 21.3%の減益となりました。

2022年1-9月

売上収益及び調整後営業利益

売上収益は 22 年 7-9 月期と同様の要因により前年同期比 5.1%の増収、調整後営業利益は研究開発費の増加があったものの、売上収益の増収により前年同期比 10.0%の増益となりました。

加工食品事業

(億円)	2022 年 7-9 月	2021年 7-9月	増減率	2022年 1-9月	2021年 1-9月	増減率
売上収益	393	362	+8.6%	1,128	1,067	+5.8%
 調整後営業利益	4	9	-54.8%	19	24	-21.2%

2022年7-9月

売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温事業等における価格改定により、前年同期比8.6%の増収となりました。 調整後営業利益は、原材料費等の一層の高騰やネガティブな為替影響を価格改定効果で相殺に至らず、前年 同期比54.8%の減益となりました。

2022年1-9月

売上収益及び調整後営業利益

売上収益及び調整後営業利益は、22 年 7-9 月期と同様の要因によりそれぞれ前年同期比 5.8%の増収、21.2%の減益となりました。

2022 年度 修正見込

全社見込

(億円)	2022 年 今回見込	2022 年 前回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	26,680	24,860	+1,820	+14.8%
調整後営業利益	7,280	6,250	+1,030	+19.3%
営業利益	6,490	5,490	+1,000	+30.1%
当期利益	4,450	3,620	+830	+31.5%
フリー・キャッシュ・フロー	4,650	3,880	+770	-
 為替一定ベース core revenue	23,050	22,480	+570	+3.3%
 為替一定ベース 調整後営業利益	6,600	6,040	+560	+8.1%
基本的 EPS(円)*	250.74	203.97	+46.77	+31.4%

*基本的 EPS は当期利益を基に算定

• 売上収益

財務報告ベースの売上収益については、加工食品事業における下方修正はあるものの、たばこ事業及び医薬事業の上方修正を反映し、前回見込より 1,820 億円上方修正し、前年度比 14.8%増の 2 兆 6,680 億円を見込んでいます。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、たばこ事業及び医薬事業の上方修正により、前回見込より 560 億円上方修正し、前年度比 8.1%増の 6,600 億円を見込んでいます。

財務報告ベースでの調整後営業利益は、円安の進行により、前回見込より 1,030 億円上方修正し、前年度比 19.3%増の 7,280 億円を見込んでいます。

営業利益及び当期利益

営業利益については、調整後営業利益を上方修正したことにより、前回見込より 1,000 億円上方修正し、前年度比 30.1%増の 6,490 億円を見込んでいます。

当期利益については、営業利益の上方修正により、前回見込より830億円上方修正し、前年度比31.5%増の4,450億円を見込んでいます。

• フリー・キャッシュ・フロー

フリー・キャッシュ・フローについては、調整後営業利益の上方修正及び設備投資の見直しにより、前回見込より 770 億円上方修正し、4,650 億円を見込んでいます。

事業別見込

たばこ事業

(億円)	2022 年 今回見込	2022 年 前回見込	対前回見込	対前年実績
自社たばこ製品売上収益	23,300	21,480	+1,820	+16.4% (+3.3%)*
調整後営業利益	7,580	6,550	+1,030	+18.6% (+7.9%)*

*為替一定ベース 対前年度増減率

• 自社たばご製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、円安によるポジティブな為替影響に加え、多くの市場における底堅い総需要及びシェアの伸張による力強い総販売数量、力強いプライシング効果により、前回見込より 1,820 億円上方修正し、前年度比 16.4%の増加となる見込みです。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年度比 3.3%の増加となる見込みです。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の上方修正により、前回見込より 1,030 億円上方修正し、前年度比 18.6%の増加となる見込みです。為替一定ベースの調整後営業利益は、サプライチェーン関連コストの増加はあるものの、自社たばこ製品売上収益の上方修正により、前年度比 7.9%の増加となる見込みです。

販売数量

総販売数量及び GFB 販売数量は、多くの市場における底堅い総需要及び継続的なシェアの伸張により好調であった 1-9 月期の実績を反映し、それぞれ上方修正しています。前回見込では前年度に比べて 3%程度の減少と見込んでいた総販売数量は今回見込では 2%程度の減少となる見込みです。 GFB 販売数量は、前年度とほぼ同水準となる見込みです。

医薬事業

(億円)	2022 年 今回見込	2022 年 前回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	835	825	+10	+3.9%
 調整後営業利益	110	100	+10	-0.8%

売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、海外ロイヤリティ収入の上振れ(円安影響含む)を織り込み、10 億円上方修正し、前年度比3.9%の増収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益を上方修正したことにより、前年同期と同水準を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2022 年 今回見込	2022 年 前回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	1,510	1,540	-30	+2.6%
調整後営業利益	20	20	<u>-</u>	-49.4%

売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社ベーカリー事業を担う株式会社サンジェルマンの株式譲渡や夏場のコロナ感染拡大による業務用商品の回復遅れ等を踏まえ、30 億円下方修正し、前年度比 2.6%の増収を見込んでいます。 調整後営業利益は、冷食・常温事業におけるネガティブな為替影響の拡大を見込むも、コスト低減施策を織り込み、前回見込からの変更はなく、前年度比 49.4%の減益を見込んでいます。 データシート

2022年度 第3四半期実績

1. 全社業績八イライト (億円)

	2022	2021	増減	増減率
	Q3累計	Q3累計	<i>-</i> 自//风	坦/吹竿
売上収益	20,085	17,661	+2,425	+13.7%
営業利益	5,793	4,807	+986	+20.5%
調整後営業利益	6,378	5,429	+949	+17.5%
税引前利益	5,356	4,638	+718	+15.5%
四半期利益	4,038	3,388	+650	+19.2%
基本的EPS*(円)	227.53	190.95	+36.59	+19.2%

^{*}四半期利益を基に算定

(参考)

	2022 Q3累計	2021 Q3累計	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	17,658	16,970	+687	+4.1%
為替一定ベース調整後営業利益	5,784	5,429	+355	+6.5%

2. 事業セグメント別実績

(億円)

		2022	2021		
		Q3累計	Q3累計	増減	増減率
<u> </u>	L				10.70
全社	土 売上収益	20,085	17,661	+2,425	+13.7%
	たばこ事業	18,345	16,012	+2,334	+14.6%
	自社たばこ製品売上収益	17,607	15,321	+2,286	+14.9%
	医薬事業	597	568	+29	+5.1%
	加工食品事業	1,128	1,067	+61	+5.8%
	その他	15	15	+1	+4.1%
全社		5,793	4,807	+986	+20.5%
	たばこ事業	5,941	4,984	+956	+19.2%
	医薬事業	73	68	+5	+6.7%
	加工食品事業	7	13	-6	-45.1%
	その他/消去	-227	-259	+32	-
調素	整合計	-585	-622	+37	
	たばこ事業	-594	-644	+50	
	医薬事業	-	2	-2	
	加工食品事業	-11	-10	-1	
	その他/消去	21	31	-10	
全社	出調整後営業利益	6,378	5,429	+949	+17.5%
	たばこ事業	6,534	5,629	+906	+16.1%
	医薬事業	73	66	+7	+10.0%
	加工食品事業	19	24	-5	-21.2%
	その他/消去	-248	-290	+42	-

2022年度 第3四半期実績

3. 減価償却費及び償却費*

(億円)

		2022 Q3累計	2021 Q3累計	増減
全社	減価償却費及び償却費	1,350	1,251	+99
	たばこ事業	1,251	1,156	+94
	医薬事業	36	37	-1
	加工食品事業	49	46	+4
	その他/消去	13	11	+2

^{*}リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(億円)

	2022年9月末	2021年12月末	増減
資産合計	67,282	57,742	+9,540
資本合計	38,659	28,861	+9,798
親会社の所有者に帰属する持分	37,894	28,093	+9,801
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	2,135.05	1,583.10	+551.94

5. 手元流動性及び有利子負債

(億円)

	2022年9月末	2021年12月末	増減
手元流動性	7,894	7,302	+592
有利子負債	9,400	9,186	+214

6. 連結キャッシュフロー・データ

(億円)

	2022 O3累計	2021 O3累計	増減
	QJ来可	QJ来可	
営業キャッシュフロー	3,436	4,289	-853
投資キャッシュフロー	-700	-701	+1
財務キャッシュフロー	-3,574	-2,913	-660
現金及び現金同等物の期首残高	7,217	5,388	+1,829
現金及び現金同等物に係る換算差額等	1,405	243	+1,161
現金及び現金同等物の期末残高	7,785	6,307	+1,478
FCF	2,795	3,506	-711

7. 資本的支出

(億円)

		2022 Q3累計	2021 Q3累計	増減
資本	x的支出	596	646	-50
	たばこ事業	468	521	-53
	医薬事業	21	43	-22
	加工食品事業	64	65	-1
	その他/消去	43	17	+26

8. 為替

	2022	2021	増減	増減率	
	Q3累計	Q3累計	1日/10八	垣 减 华	
100円/USD	0.78	0.92	-0.14	18.2%高	
100円/RUB	56.03	68.19	-12.15	21.7%高	
100円/GBP	0.62	0.67	-0.04	6.9%高	
100円/EUR	0.74	0.77	-0.03	4.7%高	
100円/CHF	0.75	0.84	-0.09	12.6%高	
100円/TWD	22.89	25.77	-2.88	12.6%高	
100円/TRY	*	7.44	:	*	
100円/PHP	41.88	45.01	-3.13	7.5%高	

^{*}IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2022年9月末日レートを適用。 (100円/TRY: 12.78、参考 100円/USD: 0.69)

2022年度 今回見込 (2022/10/31公表)

1. 全社業績ハイライト (億円)

	2022 今回見込	2021 実績	増減	増減率
売上収益	26,680	23,248	+3,432	+14.8%
営業利益	6,490	4,990	+1,500	+30.1%
調整後営業利益	7,280	6,104	+1,176	+19.3%
当期利益	4,450	3,385	+1,065	+31.5%

(参考)

	2022 今回見込	2021 実績	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	23,050	22,317	+733	+3.3%
為替一定ベース調整後営業利益	6,600	6,104	+496	+8.1%

2. EPS・配当金・ROE (円)

	2022 今回見込	2021 実績	増減	増減率
基本的EPS*	250.74	190.76	+59.98	+31.4%
1株当たり配当金	188	140	+48	+34.3%
ROE*	13.5%	12.7%	+0.8ppt	

(億円)

3. 事業セグメント別見込

2022 2021 増減 増減率 今回見込 実績 全社 売上収益 26,680 23,248 +3,432 +14.8% たばこ事業 24,310 20,951 +3,359 +16.0% 自社たばこ製品売上収益 23,300 20,020 +3,280 +16.4% 医薬事業 +3.9% 835 804 +31 1,472 +2.6% 加工食品事業 1,510 +38 その他 25 21 +4 +20.3% 全社 営業利益 6,490 4,990 +1,500 +30.1% たばこ事業 6,790 +30.0% 5,224 +1,566 医薬事業 -3 -2.6% 110 113 加工食品事業 5 -24 -82.9% 29 その他/消去 -415 -376 -39 7,280 全社 調整後営業利益 6,104 +1,176 +19.3% たばこ事業 7,580 6,392 +1,188 +18.6% 医薬事業 -0.8% 110 111 -1 加工食品事業 -20 -49.4% 20 40 その他/消去 -430 -439 +9

^{*}基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

2022年度 今回見込 (2022/10/31公表)

4. FCF (億円)

	2022 今回見込	2021 実績	増減
FCF	4,650 4,820		-170

5. 資本的支出 (億円)

		2022 今回見込	2021 実績	増減
資本	的支出	1,090	1,009	+81
	たばこ事業	880	825	+55
	医薬事業	30	60	-30
	加工食品事業	110	107	+3
	その他/消去	70	17	+53

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・2022年の総販売数量:対前年で2%程度の減少(2021年の総販売数量は5,300億本)
- ・2022年のGFB販売数量:対前年でほぼ同水準(2021年のGFB販売数量は3,558億本)

<為替前提レート>

	2022	2021	増減	増減率
	今回見込	実績	4日//吹	2日//以平
100円/USD	0.76	0.91	-0.15	19.8%高
100円/RUB	52.30	67.10	-14.80	28.3%高
100円/GBP	0.63	0.66	-0.03	5.1%高
100円/EUR	0.72	0.77	-0.05	6.9%高
100円/CHF	0.73	0.83	-0.10	14.0%高
100円/TWD	22.60	25.45	-2.85	12.6%高
100円/TRY	-	8.02	-	-
100円/PHP	41.50	44.85	-3.35	8.1%高

2022年度 今回見込 vs 前回見込 (2022/10/31公表)

1. 全社業績ハイライト (億円)

	2022 今回見込	2022 前回見込	増減	増減率
売上収益	26,680	24,860	+1,820	+7.3%
営業利益	6,490	5,490	+1,000	+18.2%
調整後営業利益	7,280	6,250	+1,030	+16.5%
当期利益	4,450	3,620	+830	+22.9%

(参考)

	2022 今回見込	2022 前回見込	増減	増減率
為替一定ベースcore revenue	23,050	22,480	+570	+2.5%
為替一定ベース調整後営業利益	6,600	6,040	+560	+9.3%

2. EPS・配当金・ROE (円)

	2022 今回見込	2022 前回見込	増減	増減率
基本的EPS*	250.74	203.97	+46.77	+22.9%
1株当たり配当金	188	150	+38.00	+25.3%
ROE*	13.5%	12.2%	+1.3ppt	

^{*}基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(億円)

		2022 今回見込	2022 前回見込	増減	増減率
全社	上 売上収益	26,680	24,860	+1,820	+7.3%
	たばこ事業	24,310	22,470	+1,840	+8.2%
	自社たばこ製品売上収益	23,300	21,480	+1,820	+8.5%
	医薬事業	835	825	+10	+1.2%
	加工食品事業	1,510	1,540	-30	-1.9%
	その他	25	25	-	-
全社	営業利益	6,490	5,490	+1,000	+18.2%
	たばこ事業	6,790	5,850	+940	+16.1%
	医薬事業	110	100	+10	+10.0%
	加工食品事業	5	10	-5	-50.0%
	その他/消去	-415	-470	+55	-
全社	調整後営業利益	7,280	6,250	+1,030	+16.5%
	たばこ事業	7,580	6,550	+1,030	+15.7%
	医薬事業	110	100	+10	+10.0%
	加工食品事業	20	20	-	-
	その他/消去	-430	-420	-10	-

2022年度 今回見込 vs 前回見込 (2022/10/31公表)

4. FCF (億円)

	2022	2022	増減	
	今回見込前回見込		垣帆	
FCF	4,650	3,880	+770	

5. 資本的支出 (億円)

		2022	2022	増減
		今回見込	前回見込	₽目//吼
資本	的支出	1,090	1,210	-120
	たばこ事業	880	980	-100
	医薬事業	30	30	-
	加工食品事業	110	120	-10
	その他/消去	70	80	-10

6. 業績予想の主な前提条件の修正

た	ばこ事業	今回見込	前回見込	
	総販売数量	2%程度の減少	3%程度の減少	
	GFB販売数量	ほぼ同水準	1%程度の減少	

<為替前提レート>

	2022	2022	増減	増減率
	今回見込	前回見込	- □//以	坦씨华
100円/USD	0.76	0.79	-0.03	3.9%高
100円/RUB	52.30	64.50	-12.20	23.3%高
100円/GBP	0.63	0.61	+0.02	3.2%安
100円/EUR	0.72	0.73	-0.01	1.4%高
100円/CHF	0.73	0.75	-0.02	2.7%高
100円/TWD	22.60	23.00	-0.40	1.8%高
100円/TRY		-	-	
100円/PHP	41.50	41.30	0.20	0.5%安

1. サマリー (前年同期比)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	1,285	1,342	1,392		4,020	- 億本
	+1.2%	-1.8%	-0.6%		-0.5%	
Combustibles販売数量	1,266	1,322	1,373		3,960	- 億本
	+1.0%	-2.0%	-0.7%		-0.6%	
GFB販売数量	874	918	956		2,748	- 億本
	+3.7%	+0.6%	+1.3%		+1.8%	_
RRP販売数量	20	21	20		60	億本
	+16.0%	+13.6%	+3.5%		+10.7%	
自社たばこ製品売上収益	5,020	6,032	6,554		17,607	- 億円
	+6.1%	+16.1%	+21.5%		+14.9%	
	(+3.4%)*	(+3.7%)*	(+4.5%)*		(+3.9%)*	_
RRP関連売上収益	191	201	197		589	億円
	+2.4%	+0.6%	+0.2%		+1.0%	
調整後営業利益	1,973	2,278	2,283		6,534	- 億円
	+8.3%	+19.6%	+20.1%		+16.1%	
	(+3.4%)*	(+9.5%)*	(+3.6%)*		(+5.5%)*	_

*為替一定ベース

2. 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	4,731	5,195	5,395		15,321
数量差	-93	-164	-191		-448
単価差/Mix	+256	+356	+432		+1,044
2022為替一定	4,894	5,387	5,636		15,918
FX	+126	+645	+918		+1,689
2022	5,020	6,032	6,554		17,607

3. 調整後営業利益実績 要因

(億円)

_	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,823	1,904	1,902		5,629
数量差	-73	-153	-173		-399
単価差/Mix	+225	+369	+433		+1,026
その他	-89	-35	-191		-315
2022為替一定	1,886	2,084	1,971		5,941
FX	+88	+194	+313		+594
2022	1,973	2,278	2,283	·	6,534

4. クラスタ―別 構成 (前年同期比)

販売数量														(億本)
		Q1	Ļ		Q2	!		Q3	1		Q4		Q	3YTD
Asia	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
総販売数量	315	328	-4.1%	317	338	-6.1%	327	358	-8.7%		308		958	-6.4%
GFB販売数量	187	196	-4.5%	192	201	-4.6%	205	214	-4.1%		183		584	-4.4%
Western Europe	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
総販売数量	275	287	-4.3%	284	302	-6.0%	281	287	-2.2%		258		840	-4.2%
GFB販売数量	187	188	-0.6%	194	196	-1.1%	190	183	+4.2%		168		571	+0.8%
ЕМА	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
総販売数量	696	655	+6.2%	741	728	+1.9%	784	756	+3.7%		695		2,222	+3.9%
GFB販売数量	500	459	+8.9%	532	515	+3.3%	561	547	+2.5%		508		1,593	+4.7%
財務														(億円)
		Q1	_		Q2	!		Q3	1		Q4		0	3YTD
Asia	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,929	1,941	-0.6%	2,075	2,003	+3.6%	2,089	2,163	-3.4%		1,816		6,093	-0.2%
			(-2.9%)*			(-0.7%)*			(-8.4%)*					(-4.1%)*
調整後営業利益	757	767	-1.3%	807	766	+5.4%	743	806	-7.9%		353		2,308	-1.4%
			(-1.5%)*			(+2.4%)*			(-7.7%)*					(-2.3%)*
Western Europe	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,252	1,224	+2.3%	1,427	1,382	+3.3%	1,455	1,294	+12.5%		1,132		4,134	+6.0%
	_,	-,	(-1.2%)*	-,	_,	(-2.3%)*	_,	_,	(+4.1%)*		-,		.,	(+0.2%)*
調整後営業利益	612	578	+6.0%	670	651	+2.9%	650	575	+13.0%		276		1,932	+7.1%
			(+3.0%)*			(-0.4%)*			(+6.4%)*				,	(+2.9%)*
EMA	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,839	1,566	+17.5%	2,530	1,811	+39.7%	3,010	1,938	+55.3%	2022	1,751	vai.	7,379	+38.8%
一 はためし公山りし上外皿	1,055	1,500	(+14.9%)*	,	1,011	(+13.2%)*	3,010	1,550	+33.3 <i>%</i> (+19.1%)*		1,/31		1,515	+36.8%)*
調整後営業利益	604	478	+26.3%	800	487	+64.3%	890	520	+71.1%		134		2,294	+54.5%
阿正汉口木竹皿	004	7/0	+20.3% (+11.8%)*		707	(+33.8%)*	090	320	(+18.1%)*		134		Z,Z34	+34.3% (+21.2%)*
			(LII.0 70)			(1-33.070)			(1-10:130)				*	(〒21.270) 為替一定ベース
														河白 上八一人

上記2021年度実績の数値は、未監査の数値であり今後更新される可能性があります。

5. クラスタ―別 自社たば	乙製品売上収益	実績 要因			(億円)
Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,941	2,003	2,163	-	6,107
	-84	-94	-194		-373
単価差/Mix	+28	+79	+13		+121
	1,885	1,988	1,982		5,854
FX _	+44	+88	+107		+239
2022	1,929	2,075	2,089		6,093
=	-				<u> </u>
Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,224	1,382	1,294	-	3,899
数量差	-64	-124	-51		-239
単価差/Mix	+50	+92	+104		+246
	1,210	1,350	1,347		3,906
FX _	+42	+77	+108		+228
2022	1,252	1,427	1,455		4,134
=	•	•	•		•
EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,566	1,811	1,938	-	5,315
	+56	+54	+55		+164
単価差/Mix	+178	+185	+315		+678
2022為替一定	1,800	2,050	2,308		6,157
FX _	+40	+480	+703		+1,222
2022	1,839	2,530	3,010		7,379
6. クラスタ―別 調整後営	業利益実績 要[因			(億円)
		•	03	04	
Asia	Q1	Q2	Q3 806	Q4	YTD
Asia 2021_	Q1 767	Q2 766	806	Q4	YTD 2,339
Asia 2021	Q1 767 -64	Q2 766 -78	806 -131	Q4	YTD 2,339 -273
Asia 2021	Q1 767 -64 +27	Q2 766 -78 +76	806 -131 +24	Q4	YTD 2,339 -273 +127
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他	Q1 767 -64 +27 +26	Q2 766 -78 +76 +21	806 -131 +24 +45	Q4	YTD 2,339 -273 +127 +91
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定	Q1 767 -64 +27 +26 756	Q2 766 -78 +76 +21 785	806 -131 +24 +45 744	Q4	2,339 -273 +127 +91 2,285
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23	806 -131 +24 +45 744 -1	Q4	2,339 -273 +127 +91 2,285 +23
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定	Q1 767 -64 +27 +26 756	Q2 766 -78 +76 +21 785	806 -131 +24 +45 744	Q4	2,339 -273 +127 +91 2,285
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23	806 -131 +24 +45 744 -1	Q4 Q4	2,339 -273 +127 +91 2,285 +23
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807	806 -131 +24 +45 744 -1 743		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807	806 -131 +24 +45 744 -1 743		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 2022為替一定	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9 595	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0 648	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18 612		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9 1,856
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 70世 2022為替一定 FX	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9 595 +17	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0 648 +22	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18 612 +38		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9 1,856 +77
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 70世 2022為替一定 FX	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9 595 +17 612	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0 648 +22	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18 612 +38		YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9 1,856 +77
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9 595 +17 612	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0 648 +22 670	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18 612 +38 650	Q4	YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9 1,856 +77 1,932
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 EMA 2021 数量差 第一度 第一度 第一度 第一度 第一度 第一度 第一度 第二章	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9 595 +17 612	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0 648 +22 670	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18 612 +38 650 Q3	Q4	YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9 1,856 +77 1,932
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 EMA 2021 数量差 単価差/Mix 年の他 2022為替一定 FX 2022 EMA	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9 595 +17 612 Q1 478 +30 +150	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0 648 +22 670 Q2 487	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18 612 +38 650 Q3 520 +7 +305	Q4	YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9 1,856 +77 1,932 YTD 1,485
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 EMA 2021 数量差 単価差/Mix その他 2021 数量差 単価差/Mix その他 2021	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9 595 +17 612 Q1 478 +30 +150 -124	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0 648 +22 670 Q2 487 +18 +203 -56	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18 612 +38 650 Q3 520 +7 +305 -218	Q4	YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9 1,856 +77 1,932 YTD 1,485 +55 +658 -398
Asia 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 Western Europe 2021 数量差 単価差/Mix その他 2022為替一定 FX 2022 EMA 2021 数量差 単価差/Mix 単価差/Mix をの他 2021 数量差 単価差/Mix	Q1 767 -64 +27 +26 756 +1 757 Q1 578 -39 +48 +9 595 +17 612 Q1 478 +30 +150	Q2 766 -78 +76 +21 785 +23 807 Q2 651 -93 +90 +0 648 +22 670 Q2 487 +18 +203	806 -131 +24 +45 744 -1 743 Q3 575 -49 +104 -18 612 +38 650 Q3 520 +7 +305	Q4	YTD 2,339 -273 +127 +91 2,285 +23 2,308 YTD 1,804 -181 +241 -9 1,856 +77 1,932 YTD 1,485 +55 +658

2,294

7. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
Winston	447	472	486		1406
Willston	+3.8%	+1.0%	+0.5%		+1.7%
Camel	202	211	230		643
Camer	+15.1%	+6.6%	+14.1%		+11.9%
MEVIUS	109	114	116		339
MEVIUS	-2.9%	-2.8%	-8.1%		-4.7%
LD	116	121	124		360
	-6.8%	-7.1%	-6.3%		-6.7%

8. 実績為替レート (前年同期比)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
100JPY/USD	0.86	0.76	0.71		0.78
1003F1/03D	9.7%高	19.3%高	27.2%高		18.2%高
100JPY/RUB	73.74	51.38	42.98		56.03
100JP1/KUB	5.0%安	31.9%高	55.2%高		21.7%高
100JPY/GBP	0.64	0.61	0.61		0.62
1003F1/GBF	6.7%高	6.6%高	7.3%高		6.9%高
100JPY/EUR	0.77	0.72	0.72		0.74
100JP1/EUR	2.1%高	4.8%高	7.4%高		4.7%高
100JPY/CHF	0.79	0.74	0.70		0.75
1003P1/CHF	7.4%高	11.9%高	19.4%高		12.6%高
100JPY/TWD	24.05	22.67	21.96		22.89
1003P1/1WD	10.0%高	12.7%高	15.3%高		12.6%高
100JPY/TRY	11.95	*	*		*
1003P1/1K1	41.9%安	*	*		↑
100JPY/PHP	44.29	40.57	40.77		41.88
100351/545	2.8%高	8.4%高	11.6%高		7.5%高

現地通貨 vs 円増減率: (前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2022年9月末日レートを適用。 (100円/TRY:12.78、 参考 100円/USD:0.69)

9. Key markets

Source: IRI, Logista, Nielsen, Panel Strator及びJTグループ内部データ等 / 出典の過去データ修正も反映しています。 フィゾピンのシェアに関するデータは2022年1月から7月までの平均ペース、スペイン・ルーマニアのデータは2022年1月から8月までの平均ペースです。

日本

Volu	me evolution					(億本)
	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
	総販売数量	145	157	164		466
		-9.2%	-8.0%	-15.2%		-11.0%
	Combustibles販売数量	131	142	148		421
		-12.1%	-11.0%	-18.3%		-14.0%
	RRP販売数量	14	15	16		45
		+33.0%	+35.0%	+30.0%		+32.5%
	HTS販売数量	8	9	10		27
		+129.5%	+116.5%	+101.3%		+114.0%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	42.1%	42.1%	42.5%		42.2%	-2.7ppt
Combustibles SoS	57.2%	57.3%	58.5%		57.7%	-1.9ppt
GFB	38.8%	39.0%	40.3%		39.4%	-1.3ppt
Winston	6.7%	6.6%	6.5%		6.6%	-0.5ppt
MEVIUS	26.7%	26.8%	26.4%		26.7%	-1.0ppt
Seven Stars	7.3%	7.2%	7.4%		7.3%	-0.1ppt
Camel	5.3%	5.6%	7.3%		6.1%	+0.1ppt
RRP SoS	12.0%	11.9%	12.0%		12.0%	+2.2ppt
HTS SoS	7.2%	7.6%	7.9%		7.6%	+3.7ppt
Total SoV	43.0%	42.9%	43.0%		43.0%	-2.5ppt

フィリピン

Volume evolution					(億本)
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	69	60	62		191
	-3.1%	-13.8%	-13.0%		-10.0%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	36.3%	37.0%	37.7%		36.8%	+0.4ppt
GFB	12.6%	13.4%	14.2%		13.1%	+0.6ppt
Winston	10.5%	10.9%	11.1%		10.7%	+0.1ppt
Camel	2.0%	2.4%	3.0%		2.3%	+0.5ppt
Total SoV	34.0%	35.2%	35.7%		34.7%	+2.0ppt

台湾

Volume evolution					(億本)
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	36	36	37		109
	-0.2%	+1.8%	+8.9%		+3.4%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	48.7%	48.7%	48.9%		48.8%	+0.7ppt
GFB	40.1%	40.1%	40.3%		40.2%	+0.4ppt
Winston	13.7%	13.8%	14.0%		13.8%	+0.1ppt
LD	7.4%	7.5%	7.6%		7.5%	+0.1ppt
MEVIUS	18.9%	18.8%	18.7%		18.8%	+0.2ppt
Total SoV	53.0%	52.9%	53.0%		53.0%	+0.7ppt

イタリア						
Volume evolution					(億本)	
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	48	47	50	٧,	145	-
	-2.0%	-4.0%	+3.3%		-0.9%	
Share evolution						
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	27.3%	27.2%	27.5%	- Q T	27.3%	+0.8ppt
GFB	22.7%	22.7%	23.1%		22.8%	+0.9ppt
Winston	14.1%	14.5%	14.8%		14.5%	+1.4ppt
Camel	8.5%	8.2%	8.2%		8.3%	-0.6ppt
Total SoV	26.8%	26.7%	27.0%		26.9%	+0.7ppt
スペイン						
Volume evolution					(億本)	
2022	01	02	02	04	(記本) YTD	
	Q1 40	Q2 43	Q3 36	Q4	118	-
小心がスプロダス三型	+5.0%	+2.9%	+10.3%		+5.8%	
					1	
Share evolution						
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	28.5%	28.4%	28.4%		28.4%	+0.9ppt
GFB	26.4%	25.7%	26.0%		26.0%	+0.5ppt
Winston	14.9%	14.4%	14.2%		14.5%	-0.3ppt
Camel	11.4%	11.3%	11.8%		11.5%	+0.8ppt
Total SoV	28.3%	28.1%	28.1%		28.2%	+1.2ppt
英国						
Volume evolution					(億本)	
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	48	48	49	٠٠٠	144	-
	-11.6%	-20.1%	-18.6%		-17.0%	
Share evolution						

2022

Combustibles SoM

Total SoV

Q1

45.2%

0.1%

11.8%

13.7%

10.2%

45.8%

GFB

Amber Leaf

Benson & Hedges

Sterling

Q2

45.0%

0.1%

11.2%

13.6%

10.6%

45.6%

Q3

45.2%

0.1%

10.9%

13.5%

11.2%

45.6%

Q4

YTD

45.1%

0.1%

11.3%

13.6%

10.7%

45.7%

Var.

-0.7ppt

-0.0ppt

-1.4ppt

+0.1ppt

+0.7ppt

-0.3ppt

ルーマニア						
Volume evolution					(億本)	
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	_
総販売数量	16	19	20		55	
	+2.3%	+1.0%	-3.1%		-0.2%	
Share evolution						
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	30.1%	29.4%	29.0%		29.5%	-0.2ppt
GFB	17.3%	16.8%	16.6%		16.9%	-0.1ppt
Wisnton	15.2%	14.8%	14.6%		14.9%	+0.3ppt
Camel	1.3%	1.3%	1.4%		1.3%	-0.0ppt
Total SoV	30.5%	29.9%	29.6%		30.0%	+0.2ppt

ロシア*					
Volume evolution					(億本)
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	184	195	219		598
	-1.3%	-5.5%	+3.4%		-1.1%
Share evolution					I

2022		Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		36.5%	36.7%	37.1%		36.8%	+0.0ppt
	GFB	27.1%	27.4%	27.7%		27.4%	+1.5ppt
	Winston	12.0%	12.0%	11.9%		12.0%	-0.8ppt
	Camel	7.4%	7.8%	8.0%		7.8%	+3.5ppt
	LD	7.7%	7.7%	7.7%		7.7%	-1.1ppt
Total SoV		37.3%	37.5%	38.1%		37.6%	+0.1ppt

^{*}ロシアにおけるSoM及びSoVは、RMC及びheated tobacco sticksを含みます。

Total SoV

トルコ						
Volume evolution					(億本)	
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	67	87	82		237	_
	-1.7%	+5.3%	-13.1%		-3.7%	
Share evolution						
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	28.0%	28.0%	27.8%		27.9%	+0.2ppt
GFB	25.5%	25.5%	25.4%		25.4%	+0.3ppt
Wisnton	16.6%	17.0%	17.1%		16.9%	+1.7ppt
Camel	6.4%	6.2%	6.1%		6.2%	-0.9ppt
LD	2.4%	2.3%	2.2%		2.3%	-0.5ppt

27.3%

27.2%

27.1%

27.2%

+0.5ppt

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2022 年 10 月 31 日)

<自社開発品>

<自社開発品>						
開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形		作用機序		起源	備考
JTE-052	乳幼児アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻	Phase3(国内)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
(delgocitinib)	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	3/10/11	害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1(国内)	HITTI	
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化する シグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制す	Phase2(国内)	自社品	
312-031	/経口	112/216	3	Phase2(海外)	87100	
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /外用	RORY アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORyを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2(国内)	自社品	
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び 血糖値の正常化を行う	Phase1(海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase1(海外)	自社品	
	アトピー性皮膚炎 /外用			Phase3(国内)		
JTE-061 (Tapinarof)	尋常性乾癬 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体(AhR)を活性化 し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3(国内)	導入品	・Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・鳥居薬品と共同開発
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase2(国内)		
JTC-064	神経変性疾患 /経口	PDHK阻害	ビルビン酸脱水素酵素(PDH)を活性化し、 代謝異常を是正する	Phase1(海外)	自社品	

^(※)開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先		作用機序	備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働き を阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫 反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時(2022年7月29日)からの変更点

・JTC-064(神経変性疾患/経口): 新規臨床入り (海外Phase1)

·JTT-251(2型糖尿病/経口):開発中止

^(※)掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

用語の定義

用語	定義
売上収益	たばこ税及びその他の代理取引取扱高を除いた売上収益
為替一定ベース core revenue	前年同期の為替レートを用いて換算/算出することにより為替影響を除いた自社たばご製品売上収益 +医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではない
調整後営業利益	営業利益+買収に伴い生じた無形資産に係る償却費+調整項目(収益及び費用)* *調整項目(収益及び費用)=のれんの減損損失±リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース	前年同期の為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準(IFRS)に基づく財務報告に 代わるものではない
四半期利益/当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益
自社たばご製品売上収益	物流事業/製造受託等を除く売上収益
RRP 関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリー等を含む Reduced-Risk Products の売上
Combustibles	製造受託/水たばこ/加熱式たばこ/無煙たばこ/E-Vapor を除く燃焼性のたばこ製品
RMC	紙巻たばこ(Ready-Made-Cigarettes)
Fine cut tobacco (FCT)	一般的にお客様ご自身で、巻紙を用いて手巻きする、または、器具と筒状の巻紙を用いて RMC を作成するための刻みたばこ
シガリロ	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMCと同様の形態に巻き上げた製品。日本マーケットにおいてはリトルシガーとも呼ばれ、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおける heated tobacco sticks (HTS), infused-tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばご製品等が含まれる
加熱式たばこ	たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこベイパー(たばこ葉由来の 成分を含む蒸気)を愉しむ製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1 スティック = RMC1 本として換算
Infused tobacco capsules (Infused)	低温加熱型の加熱式たばこ。1 パック当たり RMC20 本として換算
E-Vapor/電子たばこ	たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド(液体)を電気加熱させ、発生する ベイパー(蒸気)を愉しむ製品。クローズドタンク製品においては、1 カプセル当たり RMC20 本として 換算。オープンタンク製品においては、リフィル 10ml 当たり RMC100 本として換算
無煙たばこ	口腔内で味・香りを楽しむたばこ製品(日本では嗅ぎたばこに分類)で、粉状にしたたばこ葉を包んだポーションと呼ばれる袋を口に含むものは Snus、たばこ葉を使わずニコチンを含んだパウチを口腔内で楽しむニコチンパウチと呼ぶ。 Snus 及びニコチンパウチ 1 パウチ = RMC1 本として換算
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランドが含まれる

総販売数量	水たばこ/製造受託/RRP デバイス及び関連アクセサリーを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles 販売数量	水たばこ/E-Vapor/無煙たばこ(Snus・ニコチンパウチ)/加熱式たばこ/製造受託を除くたばこ 製品の販売数量
GFB 販売数量	GFB(Global Flagship Brand)に含まれる Winston、Camel、MEVIUS、LD の Combustibles 及び Snus 製品の販売数量
RRP 販売数量	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数(RMC として換算)。デバイス/関連アクセサリー等は含まない
HTS 販売数量	Heated tobacco sticks (HTS)の販売本数。デバイス/関連アクセサリー等は含まない
売上シェア(SoV)	販売数量と税込小売価格を掛け合わせて算出される、市場の総小売価格に対するシェア
たばこ総需要/総需要	市場全体におけるたばご製品の本数ベースの市場規模(自社推計)
Combustibles 総需要	市場全体における Combustibles の本数ベースの市場規模(自社推計)
RRP 総需要	市場全体における Reduced-Risk Products (RRP)の本数ベース(RMC として換算)の市場規模(自社推計)
クラスター	JT グループのたばこ事業をより深く理解していただくために、同事業を 3 地域(Asia, Western Europe, EMA)に区分けしたもの。なお、これらのクラスターは、JT グループの経営体制を反映したものではない Asia: 日本を含むアジア全域 Western Europe (WE): 西欧地域 EMA:東欧、中近東、アフリカ、トルコ、南北アメリカ大陸及び Global Travel Retail を含む
Global Travel Retail	従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。GTR でのパフォーマンスは、
(GTR)	EMA クラスターに含まれる。
手元流動性	現預金+短期保有の有価証券+現先
有利子負債	短期借入金+コマーシャルペーパー+長期借入金+社債
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	営業活動キャッシュ・フロー+投資活動キャッシュ・フローただし以下を除く ・ 営業活動キャッシュ・フローから、リース取引から生じる減価償却費/利息及び配当金の受取額とその税額影響/リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響/その他 ・ 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出/投資の売却及び償還による収入/定期預金の預入による支出/定期預金の払出による収入/その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばご事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばご産業株式会社 IR 広報部 東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら: jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら: jt-kouhou@jt.com